



トカプウシイ



途絶えることのない流れ
「十勝川」



いい川・いい川づくりへの

活動主体

十勝川中流部市民協働会議

高校生

提案・実施

行政・専門家

助言と指導

市民

支援

地域の
川と人がつながった
「協働」の団体

2013年 活動スタート

事前学習・活動計画

湿地デザイン

湿地環境づくり

調査

活動7年目の報告



湿地再生後の魚類生息推定数推移



「攪乱」によって、
湿地の生態系がより大きく再生された
⇒攪乱の機能を取り入れた川づくりは可能か？

攪乱（かくらん）

河川の増水した流れによって生態系が破壊され、更新される現象



平成28年台風出水後の湿地

攪乱（かくらん）後の湿地の変化

① 環境の変化

河床が砂利から砂泥に変化



② 生息魚種の変化

減少↓ フクドジョウ・ウグイ

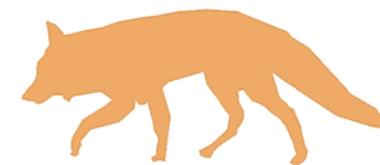
増加↑ ジュズカケハゼ・イトヨ



③ 生息数の変化

出水2年後に造成後最大の約13万8千匹

魚体重の増減から、プランクトンの増加を推測



攪乱は、湿地全体の生物を

より強く回復・増加させた

今後の活動について

- ①攪乱の機能を取り入れた川づくり
十勝川での実験と学びを深め、可能性を探る
- ②情報発信と地域との交流
SNSでの発信、高校生にできる交流
- ③活動をつなぐ、続ける
後輩へとつなぐ活動、
地域の社会人として支える側に！



平成26年卒の先輩

トカプウシイの大地に

いのち豊かな十勝川を取り戻します

